



# 研究部HP 版

第 13 版 教育研究部 令和3年1月発行

(文責:細井)

## ～ なぜそうするのか? その2～

### 1 なぜそうするのか? ～ 誘発される行動 リアクション ～

- ① Z さん、パソコンを使いたいと思っています。でも他の生徒が先にパソコンを要求し、すでに使っていました。Z さんはその生徒の頭をたたきました。(パソコンは使えないまま)
- ② Z さんは、運動場で転び、膝を擦りむきました。そして泣き出しました。
- ③ 木曜日は体育のある日です。Z さんは体育が嫌いです。Z さんはスケジュール表で体育があるのがわかると泣き叫びました。

「強化子の獲得」と「回避(逃避)」では、行動の結果、本人にいいことが起こるということがありますが、この「誘発」は行動の結果は関係なく、直前に起こった事柄や環境に発生したことによって誘発されたことへのリアクション(反応)になります。

①では、「パソコンをすでに使っている人がいる」という事柄に誘発された、「頭をたたく」というリアクション(反応)です。

※たたいたことでパソコンが使えるようになった、となるとまた違う機能になります。

②では、「転んで膝を擦りむいた」という環境に発生したことによって誘発された、「泣き出す」というリアクション(反応)です。

③では、「体育がある」という事柄に誘発された、「泣き叫ぶ」というリアクション(反応)です。

第 11 版の「子どもが走っていて転んで膝を強く打ち『泣く』」も同じですね。

「強化子の獲得」と「回避(逃避)」はいいことが起こることによって強化された行動ですが、「誘発」は「思わずでてしまった」行動ということができます。お腹が痛くなったときに「手でさする」という行動をとった人は多いと思いますが、これも「誘発」になります。そして、「誘発」は対処が難しいといわれています。

では、3つの「行動の機能」をまとめます。

1 強化子の獲得

①注目・反応（注意喚起）

②具体物・活動

③感覚

2 回避（逃避）

活動、場面、強要

3 誘発

強化子の喪失（上の①）・遅延、生物医学的要因、痛み（上の②）など

## 2 「行動の機能」を確認しよう

それでは次の①～③は、「強化子の獲得」「回避（逃避）」「誘発」のどれだと考えられるでしょう。

①パソコンが壊れて動かなくなったのを見て、「あっ」と叫んでしまった。

②ポテトチップスをもらえるまで叫び続けた。

③作業学習中、使っていた道具を窓から外へ放り投げた。

さて、「行動の機能」がわかったとして、気になるところは「どのように対処・対応するのか」ということではないでしょうか。これについては次回から考えていきたいと思います。

では、上記の「行動の機能」ですが、①「誘発」、②「強化子の獲得」、③「回避（逃避）」となります。【2月発行第14版に続く】

いたい



引用・参考：PECS トレーニングマニュアル第2版

カット：Pics for PECS 第15版（掲載許諾済み）